
魚ガール！

あくた咲希

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魚ガール！

【Nコード】

N6194Y

【作者名】

あくた咲希

【あらすじ】

俺が出会ったのは、魚をこよなく愛する少女だった。そんな彼女と洞穴で見つけた変な生物、彼女曰く「テイクタリック」。テイクタリックは、魚類と両生類のミッシングリンクだというのが……？

(連載全4回)

運命の出会いというものを、俺はそれまでついぞ実感したことがなかった。

、が。

少し前を歩く女の子が、ショルダーバッグのポケットからハンカチをとりだしたとき、はずみで落っこちたそれに、俺は何気なく目をとめた。

本当に何気なく、だったんだ。たとえばポケットティッシュだったら、そのまま素通りしていたに違いない。拾ってあげるなんてアクシオンは、初対面の人限定だが極度の人見知りである俺にはありえない。

そんな俺が、歩みを止めて、しかも腰をかがめてまで拾った、彼女の落し物。歩道のアスファルトから浮き上がるようなそれは、蛍光色のオレンジと黄色がまばゆい、親指の先ほどの大きさの玉ウキだった。

「あのおっ！ 落としましたよ」

ほとんど勢いで声をかけていた。こんなことは初めてだ。振り返った彼女と何を話したらいいかとか考えずに、よもやとびきりの美少女だったらしいなあとか期待することもなく、ただ、反射的に呼び止めた。

だから、

「ありがとうなのだっおっ！」

とかなんとか、よくわからない音が語尾についたお礼の言葉が真夏の日差しとともに飛び込んできても、即座には対応できなかった。

「すっかりここに入れたままだったんだあ。拾ってくれてありがとう」

「……………っおっ？」

「やだあ、っお、なんて言っていないよあ」

女の子は手をひらひら振りながら照れて笑うと、落っこちそうに

大きな目をくりくりさせて俺を見上げた。

「メバルみたいだなあ、と俺は彼女を見つめ返しながら思った。メバルはカサゴ目フサカサゴ科、この春先の堤防でもたくさん釣れた魚だ。さすがにあそこまで目は飛び出ていないけど、女の子はそれぐらい印象的な目をしていたということだ。」

「ん。この匂いはっ」

女の子は小さな鼻をひくつかせて、俺の胸のあたりを嗅いだ。

俺はというと、異性とここまで接近したことがついぞないので、すっかり硬直しきっていた。

「海の近くに住んでるの？ 魚屋さん？ それとも、釣りキチさんかなあ？」

その通り釣りキチです、と答えようにも声が出ない。

女の子は玉ウキをバッグの中のポーチにしまい、

「わたし、引越してきたばかりなんだ。もし釣りをする人なら、ポイント教えてね？」

そのあと自己紹介をしたような気がするが、俺はすっかり聞き逃していた。かわりに、彼女の髪が身動きのたびに揺れるのとか、ほんのり色づいた唇がカワハギみたいにちっちゃいなあとか、ほっぺたがつるつるしていて手触りよさそうだなあとか、考えていた。

やがて、反応のない俺に愛想を尽かしたらしく、女の子はじゃあねと苦笑して、曲がり角に姿を消した。通りすがりのおじさんが、でかい図体で道の真中にしゃがみ込む俺に、憐れみの視線を残しつつ去っていった。

……異性の釣り仲間ができようかってのに、俺は！ 俺は！！！
情けなくて涙が出た。がっくり頂垂れる。

なんて名前の子だったんだろう。どこに住んでいるんだろう。このあたりなら同じ高校かもしれない。とはいえ夏休み中だから転入生がいるかどうかかわからないし、隣町には私立のお嬢さん学校だつてある。そもそも中学生かもしれないし。

人生初ともいえる しかも俺の十六の誕生日目前、神様のプレ

ゼント的な「出会い」を不意にしまった俺は、予定していた夜釣りに出かける気力もなく、タオルケットにぐるぐるくるまって早寝した。

そして、夢を見た。タイやヒラメが舞い踊る、竜宮城の夢。

巨大メバルに腰掛けた乙姫様は、俺に「大事な玉ウキを拾ってくれてありがとうなのですうお」などと言い、紐のゆるんだ玉手箱をよくこした。玉手箱は受け取った瞬間にたちまち白い煙を立ち上らせ、竜宮城を包みこむ。

煙が立ち消えるのと同時に、俺の前にあったものはすべて消え失せてしまった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6194y/>

魚ガール！

2011年11月23日09時03分発行